

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会～

構成メンバー(21者)

県みどり自然課 県森づくり課 入間市 飯能市 吉見町
飯能信用金庫 (NPO法人)埼玉ハンノウ大学
(NPO法人)埼玉環境カウンセラー協会
株式会社自然教育研究センター 獨協大学 埼玉大学
公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 秩父広域森林組合
株式会社ノヴァ 武蔵野銀行 望月印刷株式会社
株式会社住田工務店 (株)埼玉りそな銀行 株式会社Akinai
一般財団法人 埼玉しあわせ未来基金 森のフィールド学舎

検討部会における背景・課題等について

【課題】

里山や平地林の減少や荒廃。保全や管理の担い手不足。関係者間をつなぐ情報共有や連携が不十分。

【意見・アイデア】

○加治丘陵（入間市）におけるフィールドワーク

現地の実態把握、保管木・残置丸太の活用策の検討

【実施した事業・取組】

○はんのう森林プラットフォーム

R4年度の検討部会で提案され、今年度から立ち上がったプラットフォームの交流事業として「はんのう森林未来塾」の開催（3回のセッション、6日間）

メンバーからの意見・アイデア等について

加治丘陵における視察及び保管木・残置丸太の検討①<加治丘陵の概況>

里山、まちのシンボル、原風景 ⇒ 保全・活用

- 加治丘陵さとやま計画 H10.3～
計画区域424ha 5つの区域に分け保全・活用の推進
- （仮称）加治丘陵さとやま自然公園見直し計画 H20.7～
110.2haを都市公園として整備予定

保全・活用の推進における課題

- 行政：人口減少・人口構成の変化への対応、活用の充実
（財政の硬直化、直営人員スリム化の影響解消）
- 関係団体：会員の高齢化・減少への対応
活動資金や情報等の確保への対応
- 自然環境：地球温暖化や虫害による環境変化への対応



位置：首都圏の北西約40km圏、埼玉県南端の中央
人口：144,732人（令和6年1月1日現在）
面積：44.69k㎡（東西9.3km、南北9.8km）
加治丘陵：市域の北西部に位置する約460haの丘陵



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<3>



メンバーからの意見・アイデア等について

加治丘陵における視察及び保管木・残置丸太の検討②<保管木等の現状>

- 山林管理ボランティア団体による山林管理（ボランティア活動）

- 11団体・223人が活動（令和5年4月1日現在）

- 13カ所・22.8haの活動地

- 間伐・枝打ち・下草刈りや、四阿・ベンチ等の整備を実施



保管木
残置丸太
増加中

- NPO法人加治丘陵山林管理グループによる整備（業務委託）



NPO法人加治丘陵山林管理グループ <https://www.npo-kajikyuryo.net/>



- 2020年代～ ナラ枯れ被害による倒木の恐れのある木が増加



メンバーからの意見・アイデア等について

加治丘陵における視察及び保管木・残置丸太の検討③<山林管理Gへのヒアリング・FW・意見交換より>

▼再整理 加治丘陵において、現状問題となっていること

伐採された木材の未活用（保管木等）

ナラ枯れ被害の増加

里山平地林検討部会メンバーでフィールドワーク、意見交換
飯能信用金庫が加治丘陵山林管理グループへ訪問・ヒアリング



1 市有林の「公共性」

2 木という材質の特性

3 手入れの担い手不足

▼現在、保管木が活用されている事例

遊歩道のベンチ、体験活動（シイタケ原木、トントウ、薪・薪割り）等…



現状の活用状況を元に検討部会メンバーで
①公共性②材質③人手不足 の条件を
クリアする活用方法を検討

主な意見・アイデア等（抜粋）

「薪をふるさと納税の返礼品に」
「週末副業での人手確保」
「薪の活用がサステナブル消費に？」



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<5>



検討部会で検討した事業・取組等について



はんのう森林プラットフォーム

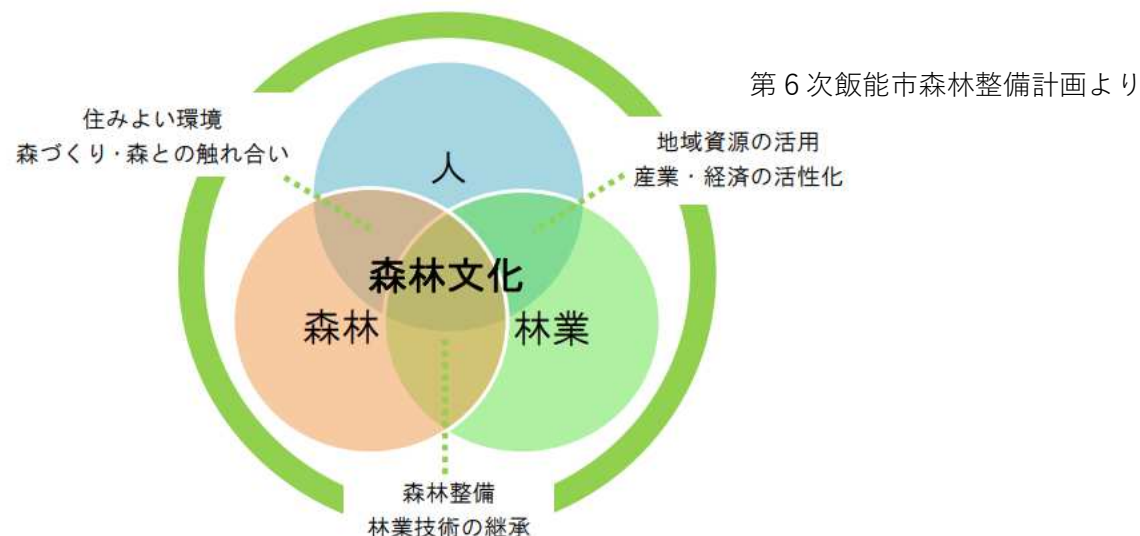
- Goal1. 埼玉県飯能市の里山、西川林業地の活性化
- Goal2. 地域の森林資源を循環的に活用して、地域と暮らしを豊かにする
- Goal3. 埼玉県から日本の新しい森林利活用を発信

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<6>

検討部会で検討した事業・取組等について

実施のきっかけ＝地域課題解決
～豊かな森林文化の再生と創造～



- ①西川林業地の復興に必要な若い担い手が早急に必要である。
- ②地域でこれまで森林整備などに貢献してきた事業者や市民団体の高齢化。
- ③埼玉県における森林・林業への理解を深め、豊かな森と人の環境をSDGsの目標に沿った持続可能な環境へと、再構築する必要性。

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<7>

検討部会で検討した事業・取組等について



森からはじまる未来をつくる
はんのう森林プラットフォーム
 令和5年度（2023年度）活動計画



はんのう森林プラットフォームとは

埼玉県熊谷市は、関東平野と秩父山地が接する場所に位置し、地域の75%を森林が占めています。「江戸(東京)の西の川からくる木材」としてその名が付いた「西川材」は、隣接する日高市、毛呂山町、越生町にまたがる西川林業地の名産品で、平成21年(2009年)には地域ブランドとして商標登録されました。

江戸時代から現在に至るまで、熊谷における主要な産業を担ってきた西川林業ですが、次世代を担う若い手の不足から、地域の森林整備や林業技術の継承に大きな課題を抱えています。

「はんのう森林プラットフォーム」はこれらの課題を解決するため、西川林業に携わる林業家や企業をサポートする持続可能な新しい仕組みを構築するプロジェクトです。

特に若年層を対象とした林業の学び舎「はんのう森林みらい塾」を開始し、広報活動を強化して、地域の森林整備に関わるヒト、モノ、コトをつなぐ情報プラットフォーム化と、熊谷森林文化のブランディング化を目指します。



はんのう森林みらい塾について

9月開校予定、林業に関わる様々な分野から講師を招聘して講義を行う学び舎です。林業の「3K(きつい、汚い、危険)」のイメージを払拭し、「カッコいい」「可能性あふれる」「子どもたちがなりたい職業」として林業の新しい「3K」な魅力を発信します。



初年度は週末1泊2日で林業を学べるコースを2〜3回開校予定。当会は市内の森林関係イベント情報発信を中心に、市内で開催される多様なイベントの一元化を行い、将来的には西川林業に本気で携わる人材の発掘を目指します。NPO法人埼玉ハンノウ大学が運営を行います。

森からはじまる3つのテーマ

① 森でつながる

西川林業情報発信サイトの運営

森づくりの担い手育成と確保のため、ホームページやSNS、パンフレット等の印刷物による西川林業の広報活動を強化します。「伊那谷フォレストカレッジ」を手段に、西川材・西川林業の魅力を発信するとともに、林業家と企業をつなぎサポートするプラットフォームづくりを進めます。



イメージ:伊那谷フォレストカレッジHP

② 森ではたらく

“林業”をデザインするイベントの開催&運営

主に20代〜40代を対象に、将来的林業家をめざす人向けの林業体験や、先進事例を学ぶ交流イベントを企画・運営・開催します。新たな視点から、森林と関わる働き方や新規事業、ライフスタイルなどを提案します。

【計画例】※名称・内容は検討中。

- 10月、11月、2月に3〜4回開催予定。宿泊付き交流事業も検討中。
- ① 自営型林業を体験!
- ② 森と関わるためのフィロソフィーを学ぶ
「はんのう森林ワーキングホリデー」
- ③ 森林ビジネスの専門家を招く
「森林起業のためのワークショップ」



③ 森でくわだてる

“森林”をデザインするイベントの開催&運営

西川材・西川林業に関する様々な交流イベントの企画・運営を行います。地域の観光資源としての森林をアピールするだけでなく、林業とその他の業種や人をつなぐ新しい取り組みを提案し、新規事業の相談窓口としての役割を果たします。



西川林業事業体と新規プレーヤーとを「つなげる」体制づくり



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

< 8 >



SDGs 未来都市
埼玉県

検討部会で検討した事業・取組等について



「はんのう森林みらい塾」 令和5年8月4日に募集開始

日経、読売、埼玉新聞はじめ、専門誌、ネットニュース、ラジオなどで話題に

定員15名に100名近くの応募者集まる

地域のSDGs

「日本の森林、林業を次世代につなげたい…」
埼玉ハンノウ大学の小野さんが語る、森の未来 | 埼玉県飯能市

2023.08.20 放送記事

ココラバ番組ニュース

LoCoLovers 地域の大好き、発信レディオ。

8月20日 コーナー情報

「日本の森林、林業を次世代につなげたい…」
埼玉ハンノウ大学の小野さんが語る、森の未来 | 埼玉県飯能市

2023.8.6

#小野まり #NPO法人 埼玉ハンノウ大学 #埼玉県飯能市 #はんのう森林みらい塾 #埼玉県 #ラジオのココラバ

【聴き逃し配信公開中】2023年8月20日
放送告知 | ゲストに株式会社JR中央線コミュニティデザイン・久郷萌さん、NPO法人埼玉ハンノウ大学・小野まりさん

2023.8.17

#はんのう森林みらい塾 #飯能市 #はんのう森林プラットフォーム #埼玉ハンノウ大学 #音で食べる。かまき餅まき #MAWASU STATION

FOREST JOURNAL

森林をはかる はじめて学ぶGIS 本を知らない林業

イノベーション エコ・地域づくり 政策・マーケット 林業者の取り組み 機械・ツール

注目キーワード 林業機械 スマート林業 持続可能な林業 林業の働き方 田中淳夫

エコ・地域づくり

森からはじまる、未来をつくる！ 飯能で森林・林業に触れる！

2023/09/08

森林をはかる

キーワードを入力してください

林業機械&ソリューション LIST

NIKKI COMPASS

都心から40分・水と緑のまち-飯能で、森林・林業のイメージチェンジ！地域の森林情報を集約する「はんのう森林プラットフォーム」誕生【NPO法人埼玉ハンノウ大学】

2023年8月2日 PR TIMES 4310文字

SDGsで地域貢献の活用を目指した、新しい森林活用取組「はんのう森林みらい塾」も開校！ <https://forestplatform.net/future/>

NPO法人埼玉ハンノウ大学（代表：小野まり・埼玉県飯能市）は、飯能市と協働で地域貢献である森と関わる人の創出した情報プラットフォーム「はんのう森林プラットフォーム」を立ち上げます。また、そのなかで持続可能な森林活用を、様々な視点で生み出すことを目的とした「はんのう森林みらい塾」を開校し、第一階級となる塾生を広く募集します。受講料は無料、令和5年8月4日（金）より申込み受付を開始します。

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会



検討部会で検討した事業・取組等について



2023.10.14
第1期生
入塾式



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<10>



SDGs 未来都市
埼玉県

検討部会で検討した事業・取組等について



2023.10.15
Session1
Day2



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<11>



SDGs 未来都市
埼玉県

検討部会で検討した事業・取組等について



HANNO
森林みらい塾

2023.11.18
Session2
Day1&2



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<12>



SDGs 未来都市
埼玉県

検討部会で検討した事業・取組等について

COURSE



-はんのう森林みらい塾 2023 年度カリキュラム-



Session.1 「森を知る weekend」 … 10月14日・15日

森を歩き、森を知る。焚き火を囲んで、森と人との関係を考える週末。
地域資源の活かし方を、北軽井沢や飛騨の森で成功している
先駆者から学びます。



Session.2 「森を愛でる weekend」 … 11月18日・19日

森からうまれる資源にふれる。薪や炭で美味しい森クッキング。
知らなかった森や木の使い方に会う週末。林業の歴史も学びながら、
森林との新しい取組みを考えます。



Session.3 「森からはじまる weekend」 … 2月24日・25日

リアルな林業を体験しながら、100年先の未来に想いを馳せる。
森からはじまる「いま」を考える週末。
森林があなたの素敵な「舞台」になるために、応援します。

入塾のご案内：すべてのセッションに参加できる方。受講料は無料です。
お問合せフォームをQRコードから読んでください。



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<13>



検討部会で検討した事業・取組等について



令和6年度事業構想

Goal4. 埼玉県飯能市の森林をテーマに起業・新規事業開発プログラム

Goal5. 新しい林業の「スタートアップ支援」の設計

森からはじまる未来をつくる

はんのう森林プラットフォーム

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<14>

検討部会で検討した事業・取組等について

満員御礼



はんのうの森の
ガイド養成講座
(全4回)

サステナブルな観光に資する 好循環の仕組みづくりモデル 事業

小・中学生を対象に飯能市内の森林ガイドができる人材を養成する講座。本講座はガイドとして自身でプログラムを組んで収益を上げることが出来るプロとしてのガイド養成を目指すもの。

はんのうの森のガイド養成講座～森のガイド人材育成プログラム～

主催：一社）奥むさし飯能観光協会
運営：NPO 法人埼玉ハンノウ大学
協力：飯能市・はんのう森林みらい塾



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<15>

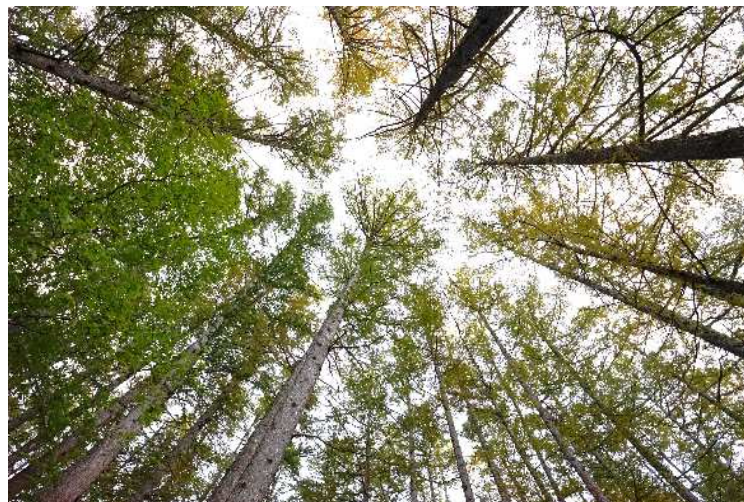


SDGs 未来都市
埼玉県

検討部会で検討した事業・取組等について

はんのう森林プラットフォームとは？

目指す取組み



「江戸(東京)の西の川からくる木材」としてその名が付いた「西川材」は飯能市と隣接する日高市、毛呂山町、越生町にまたがる西川林業地の名産品で、2009年には地域ブランドとして商標登録されました。

江戸時代から現在に至るまで、西埼玉地域のまちづくりを支えてきた埼玉県の森林を次世代へ、さらに有益なかたちで繋げるプロジェクトを担う新たな人材の育成を目指しています。

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<16>

検討部会で検討した事業・取組等について

あなたと一緒に、まちをつくる、未来をつくる



SAITAMA Pref.
EST. 1948 SAITAMA
SDGs PARTNER



ハンノウ大学

HANNO UNIVERSITY NETWORK



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<17>



SDGs 未来都市
埼玉県

本分野における今後の展開について

○現場（フィールド）での意見・アイデアを実践するプロジェクトの立ち上げ（多様な関係者が参画）



○「はんのう森林プラットフォーム」などの取組やプロジェクトの横展開を図る



○取組が蓄積し、里山・平地林の持続的な保全や活用の取組が進む